

令和7年度 第3回市政モニターアンケート
「富士宮市の緑化」の集計結果からの考察

回答率 43/50 人 86%

問2 公園整備が進められていると感じているか

公園の整備が進んでいると実感している人は、6割強。一方2割強が実感していない

回答者43人のうち28人が、公園の整備が進んでいると実感している。

この28人の住んでいる地区に、法則性がなく、市内全域に渡るため、公園整備が進んでいると実感している人は、市内にも多いと推測される。

また、実感していないと回答した9人のうち、大富士地区が3人、富丘地区が3人となっているが、これらの地域では外神東公園の整備などがあったが、実感を得られていないことがわかった。

問3,4 緑化・美化活動に興味があるか、参加する人を増やすには

自然保護や緑化、美化活動に対し9割近くの人に興味を持っているが、
その中で活動に参加したい人とそうでない人の割合は同程度である。

活動に参加したいと思わなかった19人のうち16人（8割強）が60歳以下であることから、興味はあるものの仕事や家事等との両立が活動の障壁となっていることが示唆される。（問3）

自由記述欄で募った意見43件のうち、14件が市の更なる広報活動の必要性に触れるものであった。活動の意義については理解しながらも、広く知られていないことに課題を感じる人が多いことが分かる。

また、中学生以下の子どもへの教育が必要とする人や、活動に参加する人へメリットを提示するべきという意見が次いで多く、今の参加を促すことと未来に渡って美化活動を続けるための取り組みの必要性を感じる人が多いことが伺える。（問4）

問5,6 公園緑地の満足度とその理由

約半数が公園緑地について肯定的である。2割弱の人が不満を感じている。
約3割の人がどちらでもないと回答した。

肯定的な人のうち、約8割が「やや満足」と回答している。否定的ではないものの、一部課題を感じていることが予想される。（問5）

「やや満足」と答えた人の自由記述欄のうち4割に、公園への不満が記述されていた。駐車場が少ないという意見が複数見られ、アクセス面での課題が見受けられた。

「どちらでもない」と回答した人の自由記述欄は、すべて公園緑地の課題を訴えるものであり、樹木や花壇に乏しく雑草が生えているなど美観が保たれていないという意見が散見された。「やや不満」、「不満」と答えた人も含めると、半数以上の回答者が公園緑地に何らかの課題を感じていることが判明した。（問6）

（この設問における居住地、年齢層はどの意見でも幅広く分布しており、そこから考察することがなかった）

問 7,8 居住地域の自然の豊かさについての満足度

「満足」、「やや満足」と答えた人は約4割、「どちらともいえない」人が約4割、約2割の人が「やや不満」、「不満」と答えた。

「満足」、「やや満足」と答えた人のうちほとんどが、緑が多い豊かな自然環境に満足していることが、自由記述欄から読み取れる。

一方で「どちらでもない」と答えた人のほとんどが、居住地域の自然環境に課題を感じていた。宅地開発等されたことにより自然が減ったことを不満に思う意見が複数見られ、居住地域は大富士、富士根南、富丘、大宮など市街地に分布していた。

「どちらでもない」、「やや不満」、「不満」と回答した人の意見を合わせると、約6割の人が自然環境についてネガティブな印象を持っていることが分かる。雑草が多い、緑が多いものの整備されていないという意見が散見された。

豊かな自然環境は、居住者の満足度を向上させる一方でその維持管理の難しさと一体であり、今回の結果はそのことを示唆するものになったと考える。(問 7,8)

問 9 市内で好きな場所

白尾山公園や白糸自然公園が人気。県内最大の遊具のある外神東公園は、今後富士宮市の人気公園になる可能性も。

市が整備している公園では、白尾山公園や白糸自然公園が人気である。白尾山公園の回答人数16人のうち、13人と8割以上が女性である。また、16人のうち15人(9割以上)が公園整備の進捗と実感していると回答している。また、白糸自然公園の回答人数12人の中では、公園整備の進捗に否定的な意見は見られなかった。

一方、公園整備の進捗を実感していない人は、民間施設などの市の施設ではないものを挙げている。

問 10 緑あふれるまち、世界遺産富士山にふさわしいまちにするため必要な取り組み

継続して公園整備を行っていくことと並行して、自然環境や世界遺産構成資産を保全していくことも重要

公園や世界遺産構成資産の保全や整備など、具体的なものを選択している人が回答数の半数以上を占めている。

一方の「緑の推進」など抽象的な言葉が入っているものを選択する人は少なかった。具体的なものはイメージが付きやすいため、選択する人が多かったとも推測できる。

問 11 緑あふれるまち、世界遺産富士山にふさわしいまちにするため必要な取り組み

43人さまざまな意見があるが、その中でも富士宮市を緑と水の豊かなきれいなまちにしたいという思い多かった。

30人以上が公園整備を進めてほしい、ごみのないまちにしたいなどのまちの景観に関することを回答した。

また、添付書類の緑の基本計画の概要版をこどもにもわかりやすくすると、環境保全に興味のある子が増えるのでは?という意見もあった。